

# 鴨川市

## 道路附属物長寿命化修繕計画



令和4年3月

千葉県鴨川市

## 【目次】

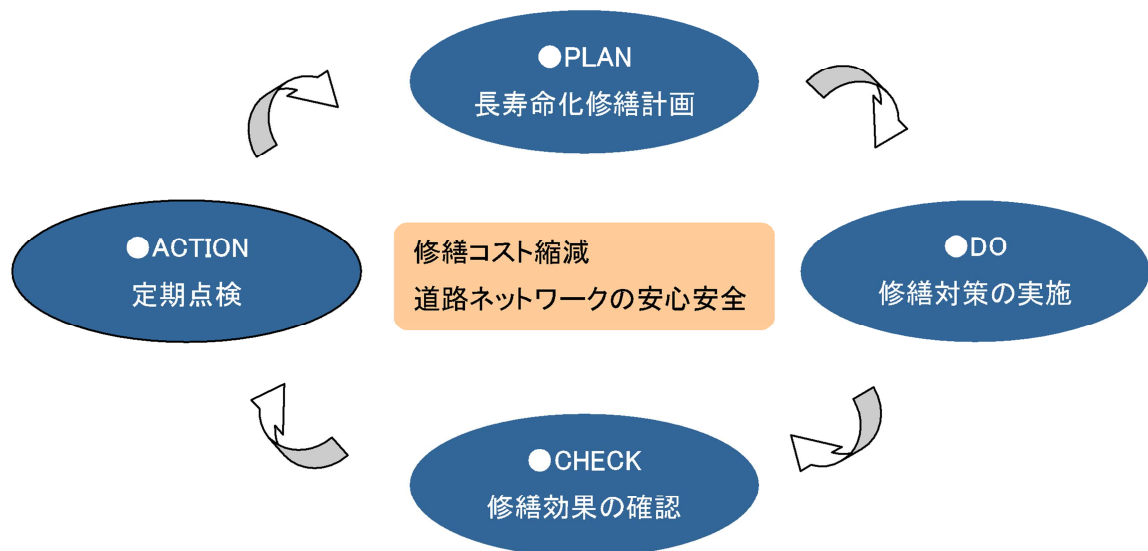
1. 道路附属物長寿命化修繕計画の目的	1
2. 道路附属物長寿命化修繕計画の背景	2
3. 鴨川市の道路附属物長寿命化修繕計画の対象	3
4. 修繕実施計画（期間：2021年～2030年）	4
5. 損傷事例	5
6. 鴨川市の今後の維持管理への取り組み	6
7. コスト縮減効果	6

## 1. 道路附属物長寿命化修繕計画の目的

鴨川市の管理する道路附属物は2つ存在し、いずれも1990年代に整備されています。どちらの構造物も早期に補修を必要とする大きな損傷は現在確認されていませんが、今後徐々に高齢化が進むにしたがって、補修が必要となっていきます。

その際、損傷が現れてから大規模な修繕を行う事後保全的な維持管理を行った場合、維持管理コストが非常に高くなり、適切な予算配分が困難になる可能性があります。

そこで鴨川市は、道路附属物長寿命化修繕計画を策定し、予防保全的な維持管理を実施することで、長寿命化によるコスト縮減と地域の道路網の安全性・信頼性のより一層の向上を図ります。



## 2. 道路附属物長寿命化修繕計画の背景

鴨川市が管理する道路附属物は、総計2本、総延長約35mあります。

鴨川市では、2018年度に2本の道路附属物を対象に、初回点検（近接目視）及び定期点検を実施しています。これらの結果より、材質劣化・漏水による損傷が確認されており、適切な補修・補強を施し、老朽化が進む道路附属物に対して、予防保全の観点から効率的・効果的な維持管理により、長寿命化を図っていくことが必要と考えています。

### ●材質劣化による損傷の例

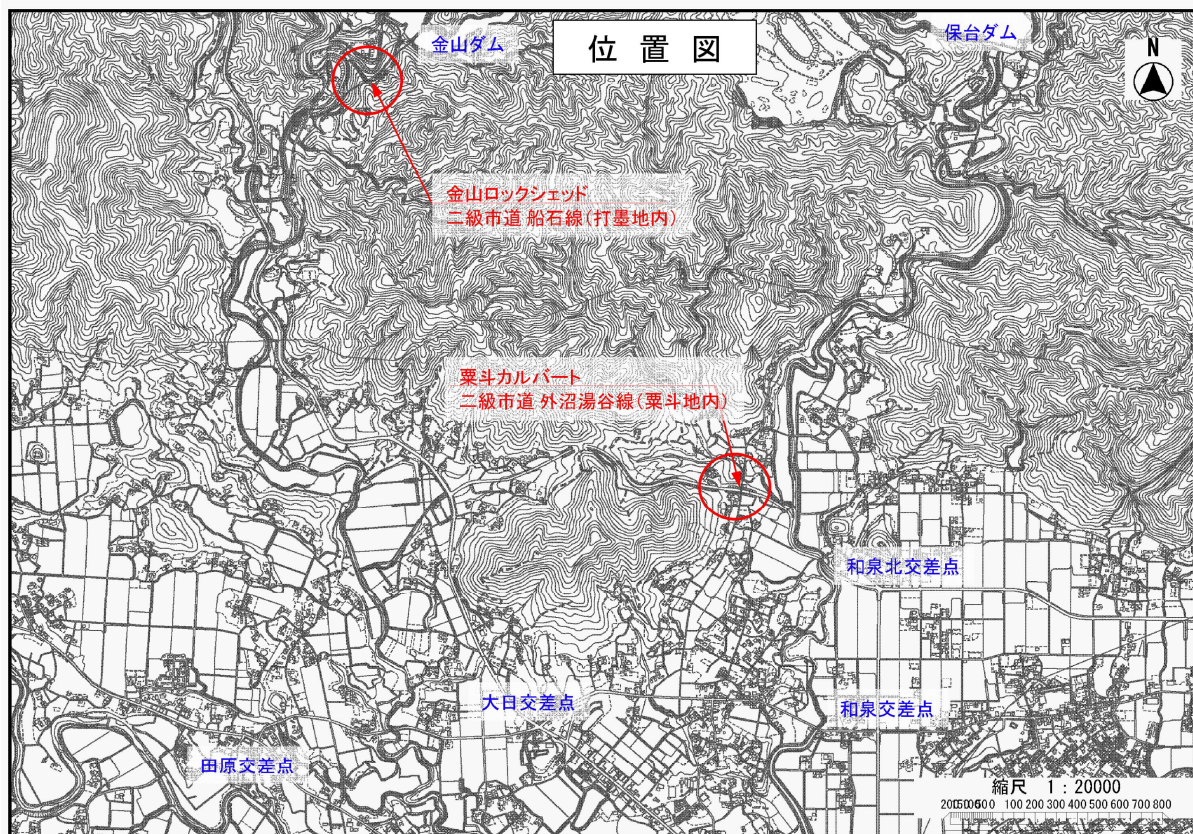


### ●漏水による損傷の例





### 3. 鴨川市の道路附属物長寿命化修繕計画の対象



対象道路附属物一覧表

施設名	路線名	場所	完成年度	延長(m)	幅員(m)
① 粟斗カルバート	二級市道 外沼湯谷線	粟斗地内	1999	21.4	8.3
② 金山ロックシェッド	二級市道 船石線	打墨地内	1996	13.5	4.8

#### 4. 修繕実施計画（期間：2021年～2030年）

年次修繕計画(10年間)

凡例 ●:点検 ○:設計 ◎:修繕

No.	道路附属物名称	路線名	延長 (m)	建設年次	対策実施年度										
					2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
1	栗斗カルバート	二級市道 外沼湯谷線	21.4	平成11年 (1999年)			●						●		
2	金山ロックシェッド	二級市道 船石線	13.5	平成8年 (1996年)			●						●		

※ ただし、予算等の都合により計画通りに修繕が実施されない場合があります。

## 5. 損傷事例

鴨川市の道路附属物定期点検により確認された損傷事例です。いずれの損傷も軽微であり、構造物の機能に支障は生じておらず、健全な状態と診断されています。

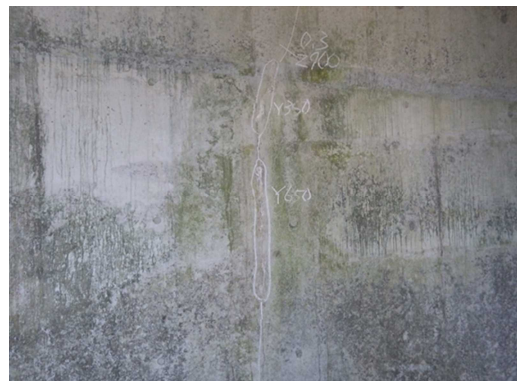
### ●ひびわれ



### ●変形・欠損



### ●漏水・遊離石灰





## 6. 鴨川市の今後の維持管理への取り組み

### ☆短期対策と中長期対策の取り組み

- ・現在損傷が発生している道路附属物に対して、損傷が進行する前に、早期に『短期対策』を行います。
- ・今後高齢化する道路附属物に対して、コスト縮減と地域の道路網の安全性・信頼性のより一層の向上を図るため、『中長期対策』として計画的な維持管理を行います。

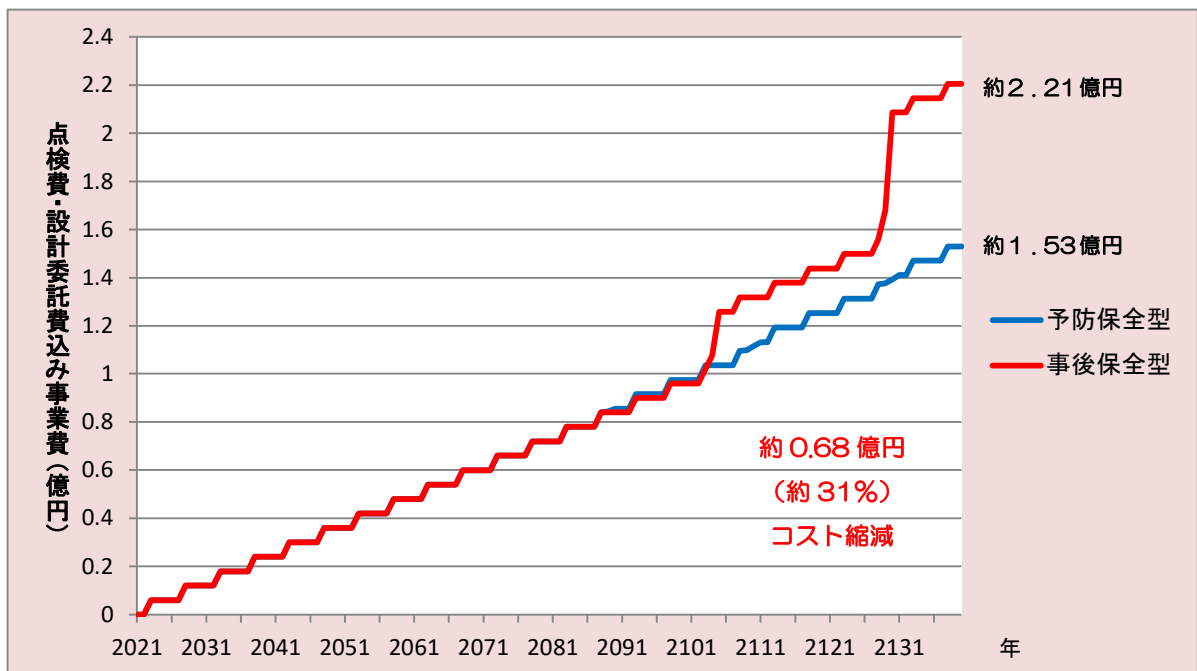
### ☆計画期間の考え方（短期対策）

- ・計画期間は、5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう10年計画とします。なお、点検結果等を踏まえ、5年ごとに計画を更新します。

## 7. コスト縮減効果

対象の2道路附属物について、損傷が現れてから大規模な修繕を行う『事後保全型』と、短期対策と中長期対策を行う『予防保全型』のコスト比較を行いました。

今後120年間の維持管理の費用は事後保全型の2.21億円に対し、予防保全型は1.53億円となり、約31%縮減が可能になります。



本体工修繕費（予防保全型・事後保全型）のコスト縮減効果（計画策定期間：120年）